

スローライフだより 23

第23号
 特定非営利活動法人
 スローライフ宮崎
 〒880-2114 宮崎市大字富吉793番地1
 TEL/FAX 0985-62-4233
<http://www.slow-life.or.jp>

生き生き学習田の
 田植えを行いました。



5月7日 金曜日 雨



行事報告

- | | | |
|----|---------|---------------------------------------|
| 4月 | 26日・30日 | 生目の杜運動公園 円形プロムナード花壇植栽 (マリーゴールド サルビア) |
| | 30日 | 生目小学校5年生 生き生き学習田 田植え前授業 |
| 5月 | 7日 | 生目小学校5年生 生き生き学習田 田植え |
| | 12日・13日 | 生目の杜運動公園 はんぴドーム花壇植栽 (マリーゴールド インパチェンス) |
| | 15日 | 監査会 (平成21年度) |
| | 18日 | 第1回三役会・理事役員会 |
| | 27日 | 第7回スローライフ宮崎 通常総会 |
| 7月 | 1日 | 第2回三役会・理事役員会 |



～ 第7回 スローライフ宮崎通常総会報告 ～

平成22年5月27日(木)に下富吉公民館にて通常総会を開催致しましたが、宮崎県内全域に口蹄疫非常事態宣言が発令されていたので、あいさつだけの簡素化した総会にし、総会資料紙面上にての承認をいただきました。

それから、生目の杜運動公園の駐車場徴収員を退職された方々に、これまでのスローライフ宮崎の活動に対してのご理解、ご支援頂いた感謝の気持ちを込めて慰労金を贈呈いたしました。



ふるさとは 近くにおいて思うもの



アグリコラムニスト
首藤 留夫



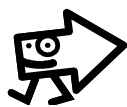
詩人、室生犀星の詩集の中に「ふるさと」がある。“ふるさとは遠きにおいて思ふもの そして悲しくうたふもの よしや うらぶれて 異土の乞食となるとても 帰るところにあるまじや・・・”ふるさとを追われるようにして上京した室生犀星が、痛いほどのふるさとへの想いをうたったもので、誰でも知っている国民的詩でもある。

かつては、“なつかしさの象徴”として遠くから眺めていた“ふるさとの姿”は、いまはもうない。残酷なほどに疲れ果てて、あえいでいる。過疎化や高齢化が極端に進む中山間地域を、ある社会学者は“限界集落”と呼んで追いつめられた社会現象として全国に広まった。

しかし、余りにもストレートな呼び方に宮崎県は反発して“限界集落”を“いきいき集落”といいかえて、人口減少に歯止めのかからない中山間地域の再生に取り組んでいる。集落が維持できなくなろうとしている“いきいき集落”は、県内で87集落にのぼっている。

日本列島南端の宮崎県に住んでいる県民人口は、6月1日現在で112万8376人。あなたもその一人です。一番人口が多かった平成9年には、117万8589人もいた県民が12年余りで5万213人も減ってあえいでいる。都市部の人口は、それほど減っていないので人口減少は、中山間地域に集中して“いきいき集落”を直撃している。65歳以上の高齢者が占める割合は、25.6%で、100人の県民のうち65歳以上は25人とちょっと。40%を超している町村もある。高齢化率は島根県をトップに宮崎県は17番目。わずかな救いは、年々生まれる赤ちゃんの出生率が、宮崎県は1.61人で全国平均の1.37人をやや上回っている。それでも2人の夫婦が1.6人余りの赤ちゃんしか産んでいない計算で、年ごとに人口減少は県勢、県が伸びる勢いをそいでいる実像が浮き彫りになっている。

ずるずると人が住まなくなっている“ふるさと”を何とかしたい、どうにかしたい、そんな想いから去年の10月「NPOふるさと再生みやざき機構」を旗揚げした。ふるさとを遠くから眺めている時ではない。ふるさとの崩壊は、家庭崩壊にも繋がっているのではないか。世代間の思いやりのズレや増えている青少年の殺人事件なども、“こころのふるさと”がなくなったのが遠因になっているのではないか。“ふるさとの大切さ”をもう一度想い起こして、ふるさとを立て直しできることからはじめようと宮崎県芸術劇場館長など有識者が呼びかけ人になって動き始めている。ふるさとの一つは、農村、農業でもあるという想いから「口蹄疫」の大発生におののきながら、いち早く宮崎市の山形屋前の街頭に立って畜産農家の救済を呼びかけて、思いがけない通りかかるとの温かい募金の多さに驚かされて農業団体に義援金を寄せた。またふるさと再生は、ふるさとを知ることからはじめようと“ふるさとツアー”を募って、西都市の臼太鼓踊り、高原町の夜神楽、西米良村の山菜まつりなどに行き、ふるさとの生の姿と元気に触れた。これからもふるさとツアーを計画して、川下と川上が一体になった“ふるさと再生”に取り組むことにしている。ふるさとは、“みやざきのこころ”です。あなたの力をふるさと再生にかしてください。



NPOふるさと再生みやざき機構
TEL 0985-20-0600
FAX 0985-20-0605

生目小学校5年生 生き生き学習田 田植え



4月30日 (金) 5時間目

田植え前授業を行いました。副理事長の横山森雄さんに講師をお願いし、生徒さんに農業についての現場の声を伝えて頂きました。ユーモアを交えての楽しい授業になりました。



5月7日 (金) 2~4時間目

田植え当日は朝から雨が降り開催が危ぶまれましたが、願いが通じたのか田植えが始まる時間になると、雨が止んでくれました。横山副理事長が田植えの注意点を話し、いよいよ田植えがはじまりました。



7月8日の学習田の様子です



田植え最中に、また雨が降りはじめましたが、生徒さんたちは等間隔にいていねいに苗を植えていきました。

スローライフ宮崎の会員の方16名にお手伝い頂きました。ご協力ありがとうございました。



雨に降る中で、泥だらけになりながらも頑張っって苗を植えていきました。秋には美味しいお米が収穫できることでしょう。



生目の杜運動公園の花壇の植栽を行いました。

アイビススタジアム前の円形花壇にサルビア・マリーゴールドを植えました



花壇のリーダーである軍吉さんを中心に手際よく作業を進めています。

今年は雨が多くて、雑草がのびてきました。晴れた日に草を取り除く作業を行いました。



木陰でひと休みです。朝早くから暑い中の作業ありがとうございます。

7月12日の花壇の様子です。

7月～10月の予定

7月	下旬	生目の杜運動公園円形プロムナード・はんぴドーム花壇植栽
8月	下旬	生目の杜運動公園円形プロムナード花壇植栽
9月	月上旬	生目小学校5年生 生き活き学習田の稲刈り
9月	下旬	生目小学校昼食会及び生目社協へのお米贈呈式
10月	下旬	生目の杜運動公園周辺ボランティア清掃



委託業務関係

7月～10月

毎月第1火曜日	駐車場料金徴収員会議	スローライフ事務所
毎月第2火曜日	花壇管理者会議	スローライフ事務所
※ 駐 車 場	土、日、祝日、キャンプ期間中	料金管理 (09:40～15:00)
※ 花 壇 管 理	随 時	(13:10～18:30)

お便り大募集！ 24号(10月発行予定)、25号(1月発行予定)

スローライフ宮崎では、皆さんからのお便りや、こんな企画があったらいいなという声を募集しています。また、写真(返却いたします)も大歓迎!! お葉書やFAXをお待ちしています。

(TEL/FAX 0985-62-4233)



編集後記



口蹄疫が、生目地域にも飛び火してきました。ガタガタになった生活環境を早急に復元するためにも、私達がびっくりするような、とてつもない対策をうち、同時に2度とこのようなことが発生しないよう、一刻も早く感染ルートを解明していただきたいものです。なお、スローライフ宮崎から生目地区自治会連合会・生目地区振興会に生目地区畜産農家支援金として10万円をおくりました。(G.H)